

My Town Topics

地域の行事や身近な話題、耳よりな情報をお待ちしています。

★ 町 黒ノ瀬戸風力発電竣工式 内の発電用風車が26基に

長島黒ノ瀬戸風力発電株式会社が昨年4月から建設を進めていた発電用風車1基が完成し、6月5日、馬込の風車前で竣工式がありました。



↑馬込に建設された風力発電施設

式典には、施工主や地元公民館、町関係者ら約60人が出席し、運転の安全を祈願しました。

風車は直径が82メートル、最高到達点が121メートル、出力は1,980キロワットで、約1,100世帯の電力使用量に相当します。

この施設の完成により、本町にある発電用風車の数は、大小合せて26基となりました。

↓対戦相手が見詰める中、第2ゲート通過



★ 福 自治公民館対抗ゲートボール大会 ノ浦Aが2年ぶり3度目のV

第4回自治公民館対抗ゲートボール大会が6月2日から7日まで、総合交流ターミナル施設でありました。

31の公民館から50チームが参加したこの大会。1次予選、2次予選を突破した8チームが決勝大会で熱戦を繰り広げ、福ノ浦Aチームが2年ぶり3度目の優勝を飾りました。2位に塩追チーム、3位には脇崎と山寺Bチームが入りました。

★ 小 不知火海に稚魚放流 学生が漁業資源拡大に一役

不知火海の本町周辺海域に地元の小学生が3種の稚魚を放流し、漁業資源の拡大に一役かきました。

放流に協力したのは鷹巣小学校と幣串小学校、本浦小学校の児童たちです。6月2日には鷹巣小の4年生30人が、薄井漁港周辺にヒラメの稚魚17,900尾を、18日には幣串小の全児童12人が、獅子島の南西にあるひょうたん島でカサゴの稚魚1,000尾を、25日には本浦小の3年生から6年生までの20人が、本浦港周辺でマダイの稚魚3,300尾を海へ放ちました。

幣串小の児童たちは、県北薩地域振興局や町の担当者からブリ養殖や赤潮、海洋汚染などの講義も受け、海の大切さを学びました。

幣串小4年の下永明慧君は「透きとおった海が好きなので、赤潮は無いほうがいい。カサゴは大きく育てほしい」と話していました。



↑本浦小の児童が、漁船からマダイの稚魚を放流

←ヒラメの稚魚を海へ放つ鷹巣小の児童たち